



西川宝三会長

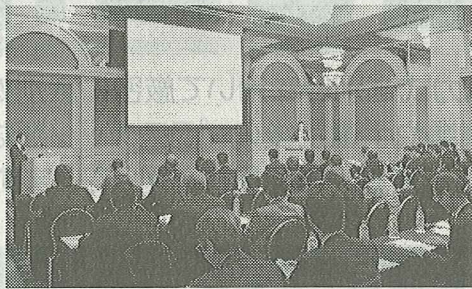
石膏ボードメーカーのチヨダウーテが開発したフッ素不溶化剤「Fクレスト」やリサイクル石膏を利用した中性固化剤「エコハード」の普及、廃石膏ボードのリサイクル技術に関する情報の共有化などを目的として、中間処理業者を正会員とする全国組織「Fクレスト会」が設立した。

先月28日に都内で行われた発起会には、全野博次氏（阪和興業）国から中間処理業者などが監査に就任した。どの関係者が詰め掛け、西川会長は「建設会け、西川宝三氏（三久社として8年前に廃石膏ボードのリサイクルを始めた。石膏中のフッ素含有の課題をきつかけとして、縁があつてチヨダウーテと共同研究を進めてきた。今後は会員企業と一緒になつて取り組んでいきたい

## 廃石膏板のリサイクル推進へ

### チヨダウーテなどが全国組織

Fクレスト会



発起会には多数の関係者が詰め掛けた

い、大嶋副会長は「会長のサポート役をしつかり務めたい」とあいさつした。

Fクレストは主成分のリン酸カルシウム塩がフッ素と反応して難溶性のフッ素アパタイトとして結晶化する。廃石膏ボードのほか、

汚染土壌やふるい下残さや廃水などに含まれるフッ素を不溶化させる効果がある。同社は

富山高専専門学校などとともに技術開発に着手。今年8月から、四日市工場（三重県）で本格的な生産を開始した。エコハードは半水石膏の持つ水和反応を利用して、非自硬性の建設汚泥や浚渫土などの含水比を下

中性固化剤のA種は原料にリサイクル石膏も使われている。現場の状況に応じ、高分子凝集剤などを原料にした造粒剤のB種と組み合わせ使用する。セメント、石灰系固化剤に比べ、中性や再掘削できる、短時間で反応

Fクレスト、エコハードを併用することで中性固化剤の低コスト化が期待できるといふ。四日市、千葉工場（千葉県袖ヶ浦市）で紹介したチヨダウーテ環境事業本部の平田富太郎本部長は「中性

固化剤が指定された公共工事などに供給できる体制を整えたい。会員企業からエコハードの注文があつた際には、その中間処理施設で製造されたリサイクル石膏を原料に利用するなどの連携が期待できる。さらに、当社の生産拠点がいない地域では焼成設備を持つ企業とのパートナーシップなども検討したい」と語った。

同会は今後、定期的な勉強会なども開催するといふ。問い合わせは、事務局（チヨダウーテ環境事業本部、059・361・4976）まで。

石膏の持つ水和反応を利用して、非自硬性の建設汚泥や浚渫土などの含水比を下げて再び使用できる状態にする技術。四日市、千葉工場（千葉県袖ヶ浦市）で紹介したチヨダウーテ環境事業本部の平田富太郎本部長は「中性